

JRCA 2013年第2回理事会 議事録

2013年6月12日(水) / 文京シビックセンターB1F 学習室 18時から

出席者：長瀬、中原、新井、佐藤、中島、齊藤、
富田、伊吹、河野、奥村、中村、石城、伊藤

1：第2戦久万高原、第3戦福島の報告

次回理事会より、各ラリーの報告は事前のメールにて受付を行い、配布資料を作成することとし、報告にかかる時間の短縮を図ることとなった。

●主催関連

近年、オープンクラス等を含めたラリー初心者が全日本に参加するケースが増えているが、それ自体は歓迎されるが、レッキ中のマナー等、勉強不足の感が否めない事象も増えている。そこで、主催者部会を中心として、ラリーの教本作成や講座開催等を検討していくこととなった。

福島のラリーでは移動距離が長く、北海道の陸別のようなリモートサービスを検討してもいいのではないかという意見が出ていた。

申込書類等でシリーズ統一化が進んできた。これをさらに進めて、機材等の統一を図ってはどうか。今回の福島で採用されていたスタートシグナルは非常にみやすく、持ち回りで使用してもいいのではないか？ 主催者部会で検討することとなった。

●メディア関連

取材申請を受け付けたメディアに対し、事前にコース全体図やメディアセーフティ等の資料をメールなどで配信してもらえないだろうか？

メディアをオフィシャル保険に加えることは検討可能だろうか。主催者部会で検討することとなった。

シリーズを通じて誰がどれくらい取材に来たのかを調査、把握することとなった。これによりラリー取材経験の度合いを図り、タバード付与の際の参考にしよう。

2：2013年4－5月収支報告

問題がなかったことが監査より報告され、承認された。

4-5 月収支報告

| 収入 | | 支出 | |
|-----------------------|---------|----------------|---------|
| 前期繰越 預金 | 317106 | 前期未払金 | 0 |
| 個人会員会費 | 110000 | JRCA Video 製作費 | 160000 |
| 団体会員会費 | 20000 | ガイドブック製作費 | 1390200 |
| ガイドブック協賛金 | 2824265 | HP 運営費 | 63000 |
| 昨年分協賛金 | 99265 | HP 原稿料 | 21000 |
| Gyao!収益 | 1803 | 支払手数料 | 840 |
| | | 事務局費 | 63000 |
| | | 慶弔費 | 16380 |
| | | 発送費 | 10500 |
| | | サーバー代 | 7078 |
| 計 | 3055333 | 計 | 1731998 |
| トータル 収入－支出 | | | 1323335 |
| 通帳残高 前期繰越＋収入－支出－お釣り現金 | | | 1640441 |
| 前期繰越 現金 | 2939 | | |
| お釣り現金 | 0 | | |
| | 2939 | | |

会計監査報告書

2013年6月3日

JRC アソシエーション
会長 長瀬 努 殿
理事会 御中

JRC アソシエーション
監査 斎藤 武祐
(オフィス・ノースター)

JRC アソシエーションの2013年4月度、ならびに2013年6月度の会計について、JRCA
会則第18条に従い、事務局からの収支明細報告、銀行口座取引明細、繰越金、口座および
現金残高について監査した結果、適正に処理、記載されていることを確認いたしました。

以上

3：参加車両のクラス表記添付について

- ・現在の全日本では、車両にクラス区分表記がなされていない。
- ・特にDAY 2はクラスが入り乱れて出走するケースが多い。
- ・同一車種ながら排気量の違いで他クラスとなるケースが出てきている。
- ・クラス区分を車両に表記することで、観客サービスにつながるのではないか。

上記のことより、クラス区分を車両に表記するよう推奨することとなった。これと同時に、JRC Aでクラス区分ステッカーを制作し、配布することとなった。

また、今後開催される各主催者に対し、添付をうながすような方策を検討してもらえよう、主催者部会を通じて告知を行っていくこととなった。

4：献血推進活動の報告（足立理事より文章にて）

Rd. 5 モントレーで献血を実施します。群馬赤十字血液センターとTAGのご協力の下献血バスを置かせて頂く事になりました。今血液センターと、TAGの方で話しは進めて頂いています。また、岐阜の血液センターからも問い合わせを頂いています。

このように全日本ラリーでの献血活動が認知され始めています。さらに拡大し日本赤十字社本社にアピールすることができれば、全国の献血ポスターにラリーが使用されたり、様々なイベント依頼が来たりと、ラリーが世に出る機会が多くなります。

今後とも、献血バスの受け入れをオーガナイズチーム様よろしくお願ひします。

5：車両名称の文字数制限について

現在全日本の参加申込共通フォーマットには、メーカー車両名を含む15文字以内となっている。だが実際には半分以上がこの文字数をオーバーしている。参加者にとってはスラッシュでの名称挿入義務や、できるだけスポンサー名を入れ込みたい思いなどが強い。

だが長すぎる名称は、ギャラリーステージでのアナウンスの読みにくさや、新聞や雑誌、インターネット等の媒体でなじまない場合がある。また、省略しすぎてよくわからなくなってしまう車両名も見受けられる。

そこで、自由記載とメーカー車両名の文字数を分けてみてはどうかという意見が出た。具体的には自由記載を15文字とし、その後ろにメーカー車両名をつけるというもの。

統一書式やスポンサーとの兼ね合いもあることから、主催者部会、選手部会、スポンサー部会で情報収集を行い、適正な文字数を検討していくこととなった。

6：次回予定

8月7日（水）18時より

文京シビックセンター5階会議室Cにて開催することとなった。